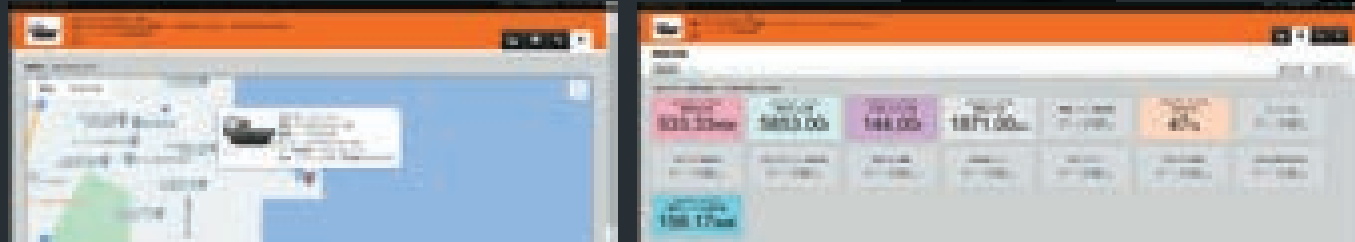


遠隔管理システム搭載

遠く離れた場所でも機械の稼働状況が遠隔管理できるシステム装置を標準搭載しました。機械の位置情報や稼働状況がリアルタイムに確認でき、お客様の機械の稼働効率向上、効果的な運用にも貢献します。

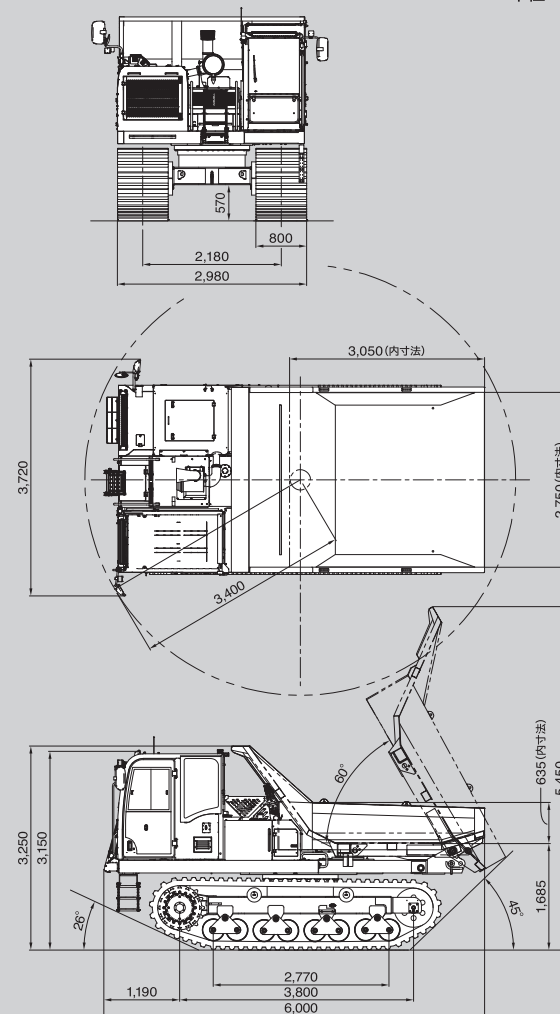


主要諸元			
モデル		MST110CR	
性能	最大積載量	kg	11,000
	走行速度（高／低）	km/h	11.8 / 7.6
	接地圧（空車／積車）	kPa	35.4 / 59.7
車両寸法 および質量	運転質量	kg	16,000
	全長	mm	6,000
	全幅	mm	2,980
	全高	mm	3,250
	最低地上高	mm	570
標準荷台	履帯幅	mm	800
	荷台形状	スクープエンド	
	内法長×内法幅×内法高	mm	3,050 × 2,750 × 635
	荷台容量（平積／山積）	m³	4.36 / 6.17
エンジン	呼称	Caterpillar C7.1 StageV	
	定格出力	kW/rpm	186 / 2,200
使用燃料	軽油		
タンク容量	燃料タンク容量	ℓ	330
	作動油タンク容量	ℓ	154
	尿素タンク容量	ℓ	32
オフロード法 排ガス規制 届出・基準	特定特殊自動車の車名及び型式	モロオカ MST-2200VDR-VI	
	特定原動機の名称及び型式	Caterpillar C7.1 StageV	
	排ガス基準	「平成26年排出ガス規制」 EPA : Tier 4 Final EU : Stage V	

●本製品の使用には「不整地運搬車運転技能講習」等の受講資格が必要です。
●画像はイメージです。カタログの内容は、予告なく変更することがあります。

本体寸法図

単位：mm



Pioneer of Rubber Crawler Carriers



MOROOKA

MST110CR

全回転〈クルクルキャリア〉シリーズ



11t
最大積載量



- 最大積載量11トン
- 電子制御ジョイスティックコントロール
- 耐摩耗鋼板HARDOX 荷台の標準装備
- ROPS/FOPS適合
- M-eye搭載



特定特殊自動車排出ガス規制
2014年基準適合
Caterpillar C7.1 StageVエンジンを採用
PM（粒子状物質）やNOx（窒素酸化物）の排出を
大幅に低減し、環境保護へ貢献します。

環境と共に生きる

MOROOKA

株式会社 諸岡

web <http://www.morooka.co.jp>

本 社 〒301-0031 茨城県龍ケ崎市庄兵衛新田町 358 ☎0297-66-2111



ES 認定
認定組織：本社、技術・研修センター、工場、全営業所
QS 認定
認定組織：本社、技術・研修センター、工場



代理店

環境性能

クリーンな最新型エンジンの採用！【Caterpillar C7.1 Stage V】

国内のオフロード法 2014 年基準適合し、世界で最も厳しい Stage V 基準もクリアしているクリーンなエンジンを搭載しました。

オートデゼル機能を追加！

走行・旋回レバーなどを一定時間ニュートラル状態にするとエンジン回転数を自動で下げます。余分な燃料消費や CO₂ の排出をおさえ、また、停車状態などでの騒音も低減します。



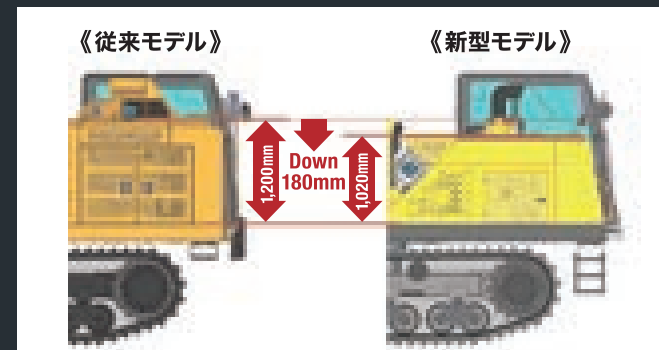
生産性の向上

アンチストール機能搭載！

積載時や、上り坂での走行・旋回動作など、エンジンの負荷が大きくなった場合、油圧機器が負荷を自動に感知し、流量を調整してエンジンストールを防止します。

右側視界性を大幅に向上！

エンジンの後処理装置の配置を最適化し、エンジンカバーの高さを約 200mm 低減。視認性は 70% 向上しました。直接目視できる範囲が増え、より安全に作業できます。

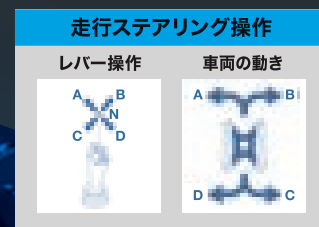
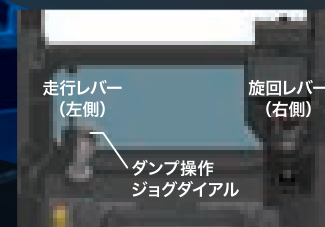


電子制御式 ジョイスティックレバーの新採用！

従来の油圧パイロット式 2 本レバーでは、油圧ショベルと同様に、前進方向は、走行モータの位置により、レバーを倒す方向と車両の走行方向が異なる場合があります。（図1）新型モデルでは、車両の向きを検知し、常にレバーを倒す方向に車両が走行する為、操作しやすくなりました。



快適な運転操作を実現



荷台の長寿命化！(当社類似モデル比較)

11ton という最大積載量 でありながら、耐摩耗鋼板の HARDOX を荷台内法全面に採用、荷台構造も骨格から見直しすることで、荷台の耐久性を大幅に向上しました。バケット爪などによる外的ダメージも軽減され、ランニングコストの低減にも貢献します。また、スウェーデンスチール社認定により、「HARDOX IN MY BODY」を取得しました。



走行スピードのUP！

走行モータ減速機をバージョンアップ。さらにオートマチックモードを搭載。新採用の走行システムにて、従来よりも車両速度が 18% UP しました。これにより、お客様の生産性の向上に貢献します。

マルチファンクションスイッチの採用

従来コンソールに個々に配置していたエンジンスロットルや操作ボタンを、手のひらに収まるマルチファンクションスイッチにより、操作しやすようにしました。

ホールドグリップ設定

不整地での不安定な走行でも体を支えられるようにグリップを標準装備しました。



スローモードの追加！

従来の高速・低速の 2 速走行に併せて、スローモードを追加しました。これにより、現場作業時に周囲の機械に接近するときやトラックなどへの車載や、ピットへの車両の移動など、慎重な微操作が必要なときに安心して走行できます。



タッチパネル液晶モニターの採用

最新型のタッチパネルにより、直感的でわかりやすい操作感となり、画面表示も大きく見やすくしました。また、データ画面やメンテナンス画面にて、車両の状態をわかりやすくしました。



※ 画像はイメージです

安全性・メンテナンス性の向上

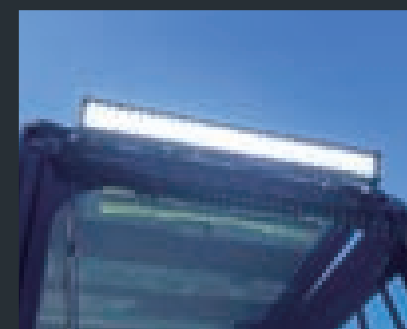
ROPS/FOPS キャabinを標準設定！

転倒時運転者保護構造の ROPS 及び、FOPS キャabin を標準装備しオペレータの安全な作業空間を確保します。



LED ライト (バータイプ)

照射性が高く、長寿命の LED ライトを標準装備しました。夜間などでも視認性が向上し、より安全に作業できます。



3D 360 MONITOR

オペレータの死角を全方位カメラでサポートします。リモコン操作により、360°表示、前後左右それぞれの表示の切り替えに対応しています。これにより、従来より安全性の高い作業が可能となります。

※ 本機能は運転者の操作をサポートするものであり、事故や衝突を防止するためのシステムではありません。周囲の安全は、モニタの画像だけに頼らず、必ず目視やミラーなどで直接確認してから車両を動かしてください。



※ 画像はイメージです

可動式ステップを軽量化！

車両前面の可動式ステップをアルミ製にし、より楽にセッティングできるようにしました。



ダンプロックピンの新設定

ダンプアップ時の荷台のロック構造を従来のバータイプからピンタイプに変更し、アクセスしやすい位置に配置しました。

